

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 新型インフルエンザ予防対策事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	3	予防医療（感染症対策）の充実
主要な施策	1	感染症の知識の普及啓発
事務事業番号	003	事務事業コード 12231003 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	新型インフルエンザ予防対策事業
------	------	------------	-----------------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 国内において新型インフルエンザの感染が拡大し死亡者も出ており、全国的な流行期に入っている状況にあります。 このため、市内における新型インフルエンザの感染拡大を防止するために公共施設に感染予防用の消毒液を備えるとともに、患者発生時の対応に従事する職員用として感染防護用具を購入する。
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市民に対する新型インフルエンザ感染拡大の抑制及び感染患者対応職員への感染防止を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	消毒液配付(設置)件数 (市内公共施設他事業所(ホテル・旅館・飲食店等)等)	件	目標値	308				
			実績値	308				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・経済対策臨時交付金	千円	3,734					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				3,734	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	33	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		33	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
市内における新型インフルエンザの感染拡大を 防止するために公共施設等に感染予防用の消毒 液等を備えることは市の役割である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
不特定多数の人が出入りしている公共施設に感 染予防用消毒液を配置することで、市民に安心 感を与えるとともに感染予防のPRとなっている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
公共施設に感染予防用消毒液を配置すること で、市民の感染予防に対する意識が定着。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
普段予想できない突発的な発生による感染症に 対する当該事業に関して削減することは困難。			

担当グループによる評価

休 止	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	ほぼ終息を迎え、庁内本部会議も休止。新型インフルエンザの感染拡大を防止するた め、感染予防用の消毒液を購入、患者発生時の対応に従事する職員用として、感染症防 護対策キット、感染症防護マスク、感染症防護グローブを購入済。当面の対応につい ては充足できている。
-----	----------------------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

休 止	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）